

安全に活動するために

海という自然を正しく理解することで、楽しく安全に学習したり、遊んだりすることができます。

「あぶない目にあいそうなキケンくん」をさがして、その理由を考えてみましょう。



キケンくんはどこ?



“あぶない目にあいそうなキケンくん”をさがそう。

すなはま 砂浜であそぶ

ライフセーバーがいる夏の海水浴場は海あそびビギナーでも安心してあそべる場所だ。

56ページから61ページは、CNAC/海に学ぶ体験活動協議会で作成された資料です。CNACのホームページでは、「海あそびレシピ」や小冊子「海あそび安全講座」などの資料も見ることができます。

タブレットなどを使って見てみましょう。

(URL) <http://www.cnac.or.jp/>

なにであそぼ

海を感じる、波乗りあそび

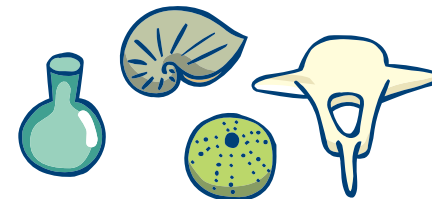
ボディボードや、ボードを使わないボディサーフィン気分サイコー。

いがいとハマる、砂あそび

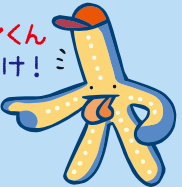
バケツで海水をくみ、砂と混ぜてかためると、かたくしまる。これをけずってゲージュツ作品をつくろう。砂のサマーベッドもためしてみたい。

おくが深〜い、ビーチコーミング

うちあげられた漂着物をひろってコレクション。アートも楽しい。



キケンくんみつけ!



波にのまれる!

波が大きいときは、“ひき波”に足をとられる。波にのまれると、中はまるでせんたくぎの中のようなのだ。



沖へむかう流れに乗ってしまう!

波となっておしよせた海水は、沖にもどる。波うちぎわでは岸にそって流れ、最後は沖にむかって川のように流れていく。この“波のもどり道”に乗るとキケンだ。



風に運ばれる!

ふと気づいたら遠くに流されていることがある。波がなくても、陸から海にむかって風がふいているときは注意。



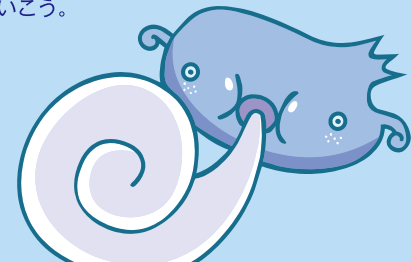
低体温症はコワイ

くちびるがむらさき色になり、ふるえがきたら、海からあがるサインだ。体をふいて着がえよう。



●風にも注意

ぬれたまま風にあたると、海中と同じくらいひえる。ウインドブレイカー、ウールやフリースの上着をもってこう。





あっ 海に落ちた
どうしよう！
うきあもない！

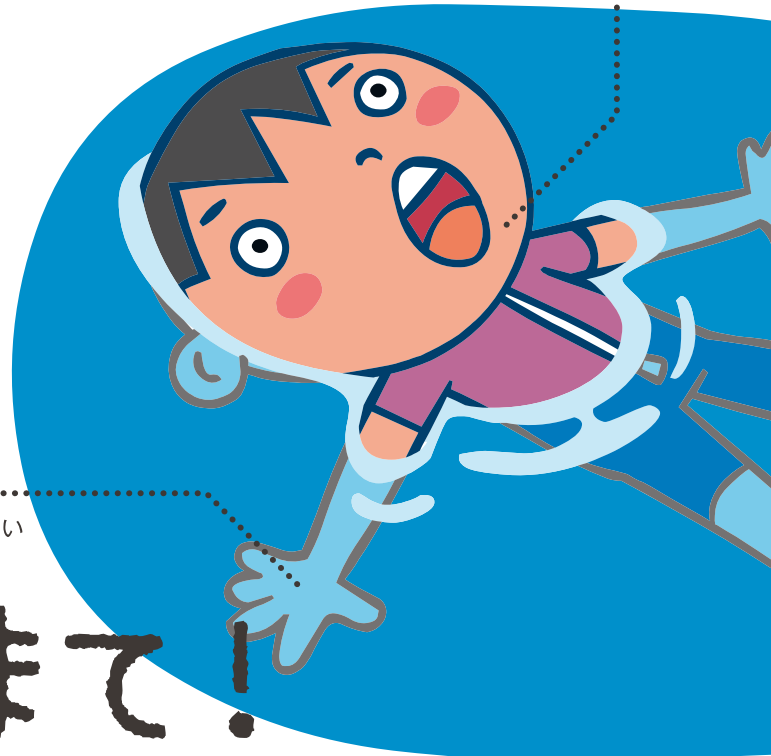
手は横に広げ・・・
水面上に出さない

ういて まで！

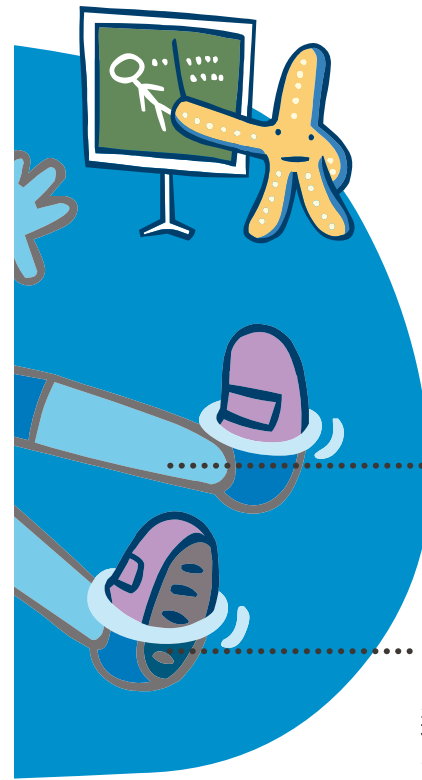
おぼれたときの基本
「ラッコうき」

背うきのこと。むねをはって
ゴロリあおむけにねているポーズだ。

あごを上げ
真上を見る



あわてずに
ラッコうき！
うかんで
助けを待とう



足もかるく
のばす

はいているくつは
ぬがないで！

運動ぐつやスポーツサンダル
などのかるいくつをはいて
いると、足がうくよ。

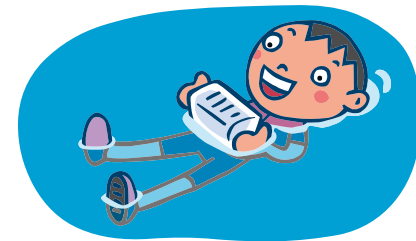
ニンゲンうきしずみ学

1 人は、ほんの少しく。
でも息をはくと、しずむ。



2 手をふって
「助けて〜!」とさけぶと？
体がしずむ。

3 というわけで、ラッコうきで
あわてずさわがず助けを待つ
がいちばん。



うくモノがあれば
もっと楽にうける
ペットボトルは役に立つ。

身につけて
いると
うくモノ



ライフジャケット
(PFDともよぶ)

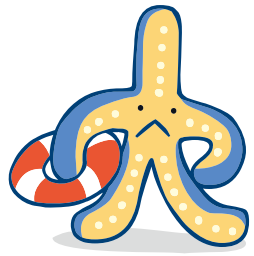


運動ぐつや
スポーツサンダル



ウエットスーツ

だれにでもできるレスキュー



もしも、友達やまわりの人が
海に落ちたら、きみはどうする？
「できること」「するとキケンなこと」を
おぼえておこう。

みんなで、安全に、すばやくレスキュー

- ①おぼれそうな人**
“ラッコうぎ”する。
(背うぎ)
- ②すぐに連絡**
消防署(119番)か
海上保安庁(118番)に
電話して
助けをよぶ。
- ③はげます**
うくモノを
わたし、救助隊が
くるまではげまそう。
自分は水の中に
入らないこと。
- ④救助隊が救援**
救助は
訓練を
つんだ
救助隊にまかせよう。
- ⑤病院に行く**
これでレスキュー
おしまい。

「できること」



電話で119番に
れんらくしよう！
自分の携帯電話でも、
おとなにたのんでもよい、
まず助けをよぶ。



声をかけてはげます・
指示をする
あわてたときは、だれだって
頭の中がまっ白。
だから声をかけてあげよう。



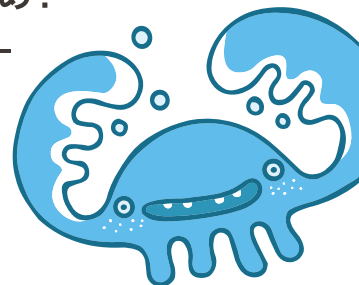
うくモノをわたす
声をかけ、目があってから
うくモノを投げよう。
近くなら、長いぼうやつりざおを
さしだし、ひきよせる方法もある。

「するとキケンなこと」

身のまわりにある
“うくモノ”で助けよう！



泳いで助けちゃだめ！
水に入っただけのレスキュー
は絶対にしないこと。
きみもおぼれてしまう。



プラスチックの旅

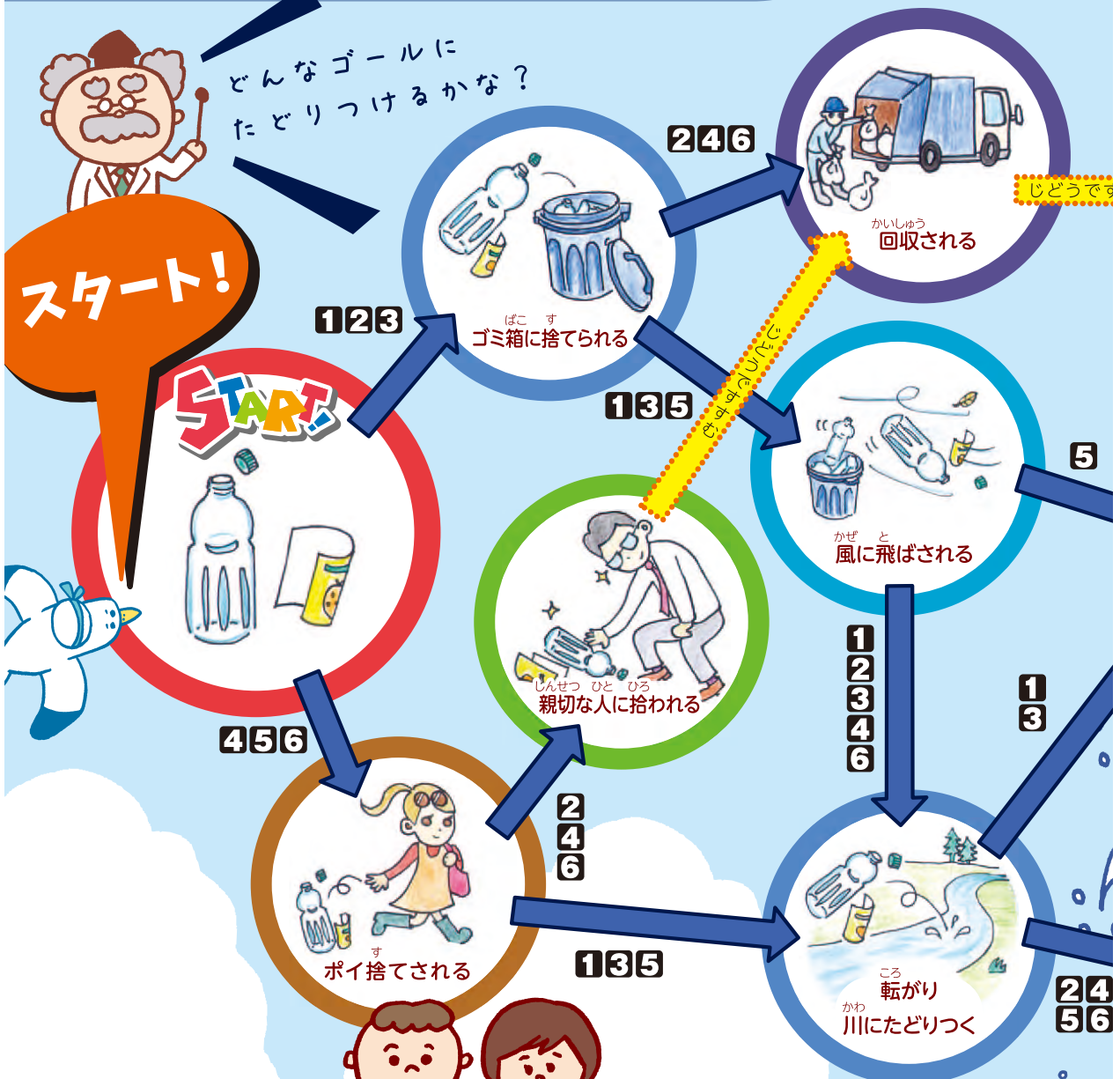
～プラスチックゴミの行方を知ろう～

ペットボトルやレ
わたくし せいかつ
私たちの生活にと
みんなが捨てた後
すごろくで体験し



どんなゴールに
たどりつけるかな？

スタート!



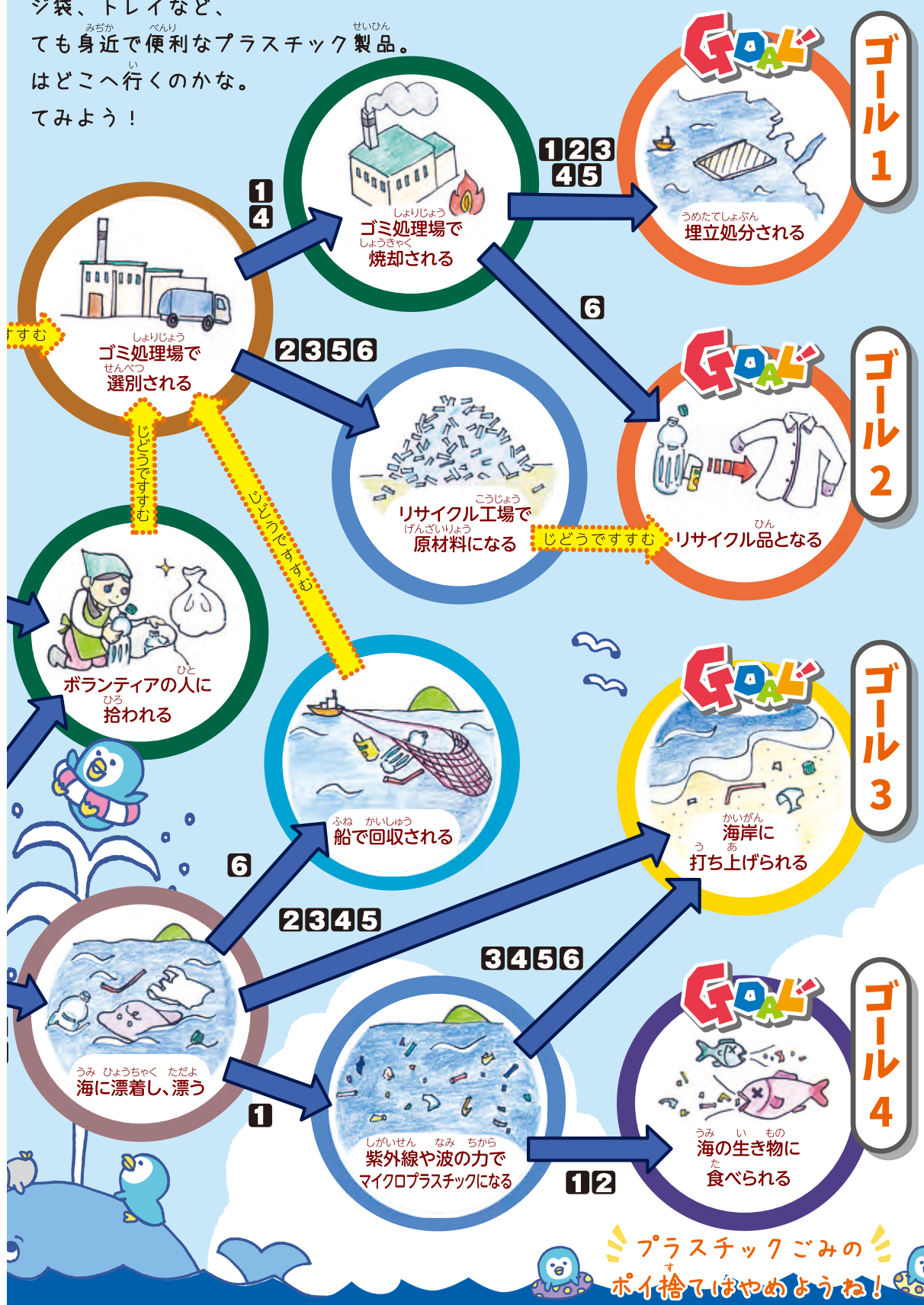
ルール

サイコロをふり、でた目の → を進もう！
点線 は自動で進めます。

必要なもの

サイコロ (1個)
こま (人数分)

ぶくろ、トレイなど、
でも身近で便利なプラスチック製品。
はどこへ行くのかな。
てみよう！



プラスチックごみの
ポイ捨てはやめようね！

編集にあたった人（五十音順）

有田 佳乃巳
石原 慎
井出 維摩
浦 由佳
小川 大輔
諏訪園 朋也
林 江美
平田 滋典
深田 有紀恵
福井 啓
増田 桂子

阪南市教育委員会
阪南市海洋教育推進協議会

写真・資料協力

NPO法人大阪湾沿岸域環境創造研究センター
NPO法人 海に学ぶ体験活動協議会（C N A C）
きしわだ自然資料館
貝塚市立自然遊学館
チーム☆ガサ

その他、多くの皆さま方にご協力をいただきました。

はんなんのうみ

初版 2022年4月1日発行

発行者 阪南市教育委員会

阪南市海洋教育推進協議会

この副読本「はんなんのうみ」は、海洋教育パイオニアスクールプログラムの助成金により作成しました。

 日本 THE NIPPON
該回 FOUNDATION

 海洋教育センター
CENTER FOR OCEAN LITERACY AND EDUCATION

 OPRF 海洋政策研究所
SASAKAWA PEACE FOUNDATION